

笑顔をつなぐ広報紙

広報 ひとよし

2012

5

No.962

肥薩線を世界へー。

特集

Start Line

スタートライン



平成24年度人吉市予算

住宅リフォーム＆耐震診断に補助金がでます

03 F A C E

2012 ミス・ユニバース・ジャパンで3位に入賞した
吉村 そらさん

04 肥薩線を世界へー。

特集

Start Line

スタートライン

10 話題をおって

災害時等の相互応援に関する協定書調印式／岩屋熊野座神社お披露目見学会／春の全国交通安全運動出発式／HITOYOSHI株式会社シャツの余り生地提供／人吉市消防団春季総会／東間小学校入学式／甲田真理さんのダンスレッスン／海棠まつり／

12 人吉市の予算

14 住宅リフォーム費用の一部を補助します

15 木造住宅の耐震診断はお済みですか？

16 平成24年度 校区公民館講座受講生募集

18 平成24年度 子ども講座受講生募集

基本チェックリストを実施します

19 情報ひろば

22 ごはんの時間／タケノコ入り和風焼きコロッケ
行事カレンダー

23 平成24年人吉市新規採用職員紹介

24 はい、こちら消費生活センターです
ぼくらのまちのHERO消防団25 わが家の愛ドル
ようこそとしょかんへ！26 医療のお話し／山田 和彦先生
編集後記27 市長の部屋 ひと好し ちょっといい話
みなさんからののおたより28 Hitoyoshi information / 人吉市カルチャーパレス自主文化事業
人間国宝「六代 山勢 松韻」人吉公演

今月のPICK UP！



桜満開の駅に馬頭琴の音色が響く

桜が満開となった大畑駅構内で、3月31日に大畑駅さくら祭りコンサートが開かれました。同駅の美化活動などを行う「大畑駅を愛する友の会」が中心となり、「春のじゅぐりつと博覧会」に合わせて今年初めて開催したものです。

演奏を披露したのは、モンゴルの伝統楽器・馬頭琴の演奏者として国際的に活躍する美炎さん。コンサートは馬頭琴の由来にまつわるモンゴル民話「スーホの白い馬」の朗読と演奏から始まり、伝統曲からオリジナル曲まで、お客さんは美しいのびやかな音色を楽しんでいました。

友の会会長で同駅名誉駅長の池田幸男さんは「駅には年間2千人の鉄道ファンが来ます。そんなファンの後押しがあつて大畑駅は守られています」と話していました。



桜の花がひらひらと舞う幻想的な雰囲気の中、馬頭琴の音色が響いた（上）／作りや音の鳴り方など、楽器の紹介も交えながら曲を披露してくれた美炎さん（下左）／雨の予報だったにもかかわらず、当日は朝から晴天。地元の人をはじめ多くのお客さんが訪れた（下右）

よしむら そら

平成元年9月26日生まれ。東間小学校、第一中学校、南稜高校を卒業後、会社勤めなどを経て福岡でモデルとしての活動を開始。東京在住。「美しいものが好き」と話す彼女の趣味は、音楽や映画鑑賞のほか、美術館巡りや絵を描くこと、書道などさまざま。「人種や国籍に関係なく、人間は同じ空でつながっている仲間。そういうことが分かる人になってほしい」との思いから「そら」と名付けられたそう。



写真左が吉村さん

世界一の美女の栄冠を競うミスコンテスト、ミス・ユニバース。その日本代表を決めるミス・ユニバース・ジャパンの最終選考会が4月に大阪で開催され、見事第3位に輝いた。彼女は身長170センチ。「子どものころは背の高さがコンプレックスでした。でも大人になると、かっこいいねと言われるようになったんです」。福岡でアルバイトをしていたころ、友達からモデルの仕事を勧められた。父親から「早く好きなことを見つけなさい。好きなことへの努力は楽しいから」と教えられてきた彼女。モデルの仕事をやってみて、「これだ」と思った。

そして昨年、周囲から推されてミス・ユニバース・ジャパン九州大会へ応募。優勝し、九州代表として最終選考会への切符を手にした。

外見の美しさだけでなく、知性や感性、人間性など内面も重視されるのがミス・ユニバースの選考基準。ファイナリストに残ると、大会前に「ビューティキャンプ」という研修に参加し、心と体を磨くさまざまなレッスンを受けた。研修中の生活態度や書いたブログの内容などは、全てが審査の対象に。「おかげで、自分を一から見つめ直すことができました」と振り返る。

最終選考会では、水着やウオーキングなどのほか、スピーチ審査も。ここでは「日本の『心の文化』が好き。その素晴らしい文化を世界に発信したい」と話した。そのスピーチ通り、夢は表現者として世界で活躍することだ。

TOP INTERVIEW



人吉市長 田中信孝

「肥薩線を世界遺産へ」と思い始めたきっかけは、3年前に見たテレビ番組。世界遺産に登録されている3つの鉄道が紹介されていました。その鉄道の歴史や施設を見ているうちに「産業遺産である肥薩線にも価値があるのでしょ？」と思い調査したところ、124.2キロに渡って100年前の姿をそのまま残した路線は、日本だけでなく東アジアでも肥薩線だけでした。さらに世界遺産として登録されている鉄道と比較しても勝るとも劣らぬ鉄道遺産であることが分かりました。そうであれば、埋もれてしまっている肥薩線に光を当て、磨き、世界遺産に押し上げていこうと思いつたのです。

明治の志と息吹を、後世へ。

今まで、誰も肥薩線全体の価値を調査研究してきていませんでした。そこで、まず手始めに、この路線のさまざまな産業遺産群を調査したいと思います。そして、この肥薩線という産業遺産を築いてきた明治の人たちの志や息吹を受け継ぎ、学び、さらに後世に伝えていくという環境を作り上げていきたいと考えています。そこにD51が走ればいうこと無しです。肥薩線は100パーセント世界遺産になります。それを信じないことには先に進みません。あとは市民の皆さん、沿線住民の皆さんが、いかに熱意を持って私たちと一緒にやって取り組んでいただけるかです。地域全体で盛り上げ、私たちの宝・肥薩線を、いざ世界の宝へ！

なぜ世界遺産という夢が出てきたのか？
そして、そもそも世界遺産とは何なのか？

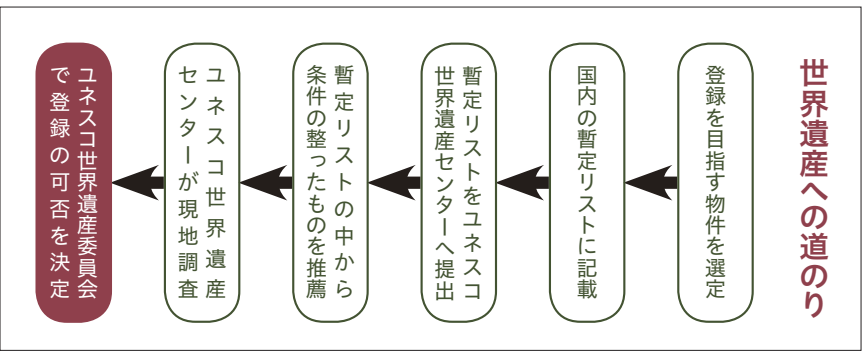
世界遺産の理由

鉄道の世界遺産は①ゼメリング鉄道（オーストリア）、②ダージリン・ヒマラヤ鉄道（インド）、③レーティッシュ鉄道（スイス・イタリア）の3つ。肥薩線は鉄道で4番目の世界遺産登録を目指す。

世界遺産とは 1972年の第17回ユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づき、人類共通の宝物として未来の世代に引き継いでいくべき文化財や遺跡、自然環境で、世界遺産委員会に登録された有形の不動産のこと。文化遺産、自然遺産、複合遺産がある。

日本の世界遺産 日本には12の文化遺産と4つの自然遺産がある。最近では、2011年に平泉（文化遺産）と小笠原諸島（自然遺産）が新たに世界遺産として登録された。また、世界遺産に登録されるためには「暫定リスト」に記載される必要があり、現在12の文化遺産が掲載されている。

世界遺産になるには 昨年の10月にカルチャーパレスで開催された「肥薩線世界遺産シンポジウム」で、前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎氏は「肥薩線は世界遺産になる要素を持っている。今後は肥薩線が日本や世界の鉄道史の中でどう位置づけられるのか学術的研究と地域の盛り上がりが必要」と指摘された。



肥薩線を世界へ。

平成23年8月26日、人吉市、宮崎県えびの市、鹿児島県湧水町を中心に肥薩線沿線自治体など11市町村が「肥薩線を未来へつなぐ協議会」を設立（H24.4.25現在14市町村）。肥薩線を未来へ継承し、世界遺産に登録しようというビッグプロジェクトが始動した。

特集 Start Line スタートライン

肥薩線の歴史 100年レイル肥薩線 明治42年11月、肥薩線が全線開通。これにより、北海道・釧路から鹿児島までの日本縦貫鉄道が全通（函館・青森、下関・門司間は連絡船）。鉄道時代の幕が開く。当初、八代・鹿児島間の鉄道計画ルートは、水俣側を通る海岸線案、中央線案と人吉・吉松を経由する山手線案（現在の路線）の3案があった。その中から、勾配が急で難工事のため莫大な工事費が予想された山手線案に決定したが、その裏には人吉藩出身の衆議院議員・渋谷礼氏ら多くの先人たちの熱心な誘致活動があったという。現路線に決定した理由は①直線的に鹿児島と宮崎両方からの縦貫線であることのほか、②海岸からの艦砲射撃を避けることができること、③九州が本州から孤立した場合、自給可能なのは山深い人吉盆地であることなど日清戦争開戦直前の時代背景もあげられる。肥薩線の工事は、財政難による着工延期や日露戦争による中断など、開通までには幾多の困難を極めた。中でも最難関となったのは人吉・吉松間。日本初のループ線とスイッチバックの建設や、山頂のため難所となった矢岳第一トンネルなど、当時の技術の粋を集め国力を傾注した難工事だった。それから100年。肥薩線は路線名変更や、SLからディーゼル車への転換などさまざまな変容を受け入れながら、今日も当時の姿を私たちに見せ続けている。



肥薩線の底力

鉄道観光案内人会長であり元SLの機関士・立山勝徳さんに、肥薩線の魅力を聞いた。

移りゆく車窓が織りなす魅力

肥薩線は全長124.2kmの中に、八代〜人吉間の川線、人吉〜吉松間の山線、吉松〜隼人間の田園路線がある。川線は、片方は球磨川、片方は九州山脈の山々の間を縫って走る。そこには球磨川を中心とした景観がある。一転して山線は、人吉駅から海拔536.9mの矢岳駅まで駆け上がる。いわゆる九州山脈を越えていく山岳路線である。矢岳までは登り勾配の連続、矢岳を過ぎると下り勾配の連続。そこには日本三大車窓の一つもある。最後に霧島連山の麓をなだらかに海岸へ向かって降りていく田園路線。静かな農村風景の中を列車は走る。こういった3つの個性豊かな車窓が織りなす線区が肥薩線の大きな魅力のひとつだ。

100年前の鉄道遺産

こういった自然の魅力の中に、駅・トンネル・鉄橋といった構造物が100年前に造られたそのままの姿で残っている。例えば、明治時代の技術

の粋を集集して造られた球磨川に架かる橋梁や人吉駅の機関庫、大畑にあるスイッチバック、ループ線など一つ一つに個性的な魅力がある。

昭和40年頃までは、貨物や人の輸送の中心は肥薩線だった。しかし昭和43年になると、道路網の整備や自動車産業の台頭によって、交通の中心は自動車に。特に人吉球磨のような田舎でその傾向は顕著だった。そのため、肥薩線の利用者は減少。当時の国鉄は、お客さんがいない路線には新たな設備投資をせずに改良が見送られてきた。だから古い建造物のまま使用され、それが今となっては逆に遺産としての魅力を増大させたといえる。

南九州の産業発展の礎

肥薩線が開通したことは、まさに交通の大革命だった。人吉球磨は陸の孤島から開放され、人や貨物だけでなく文化の交流も促進された。

そんな中、もうひとつ忘れてはならないのが産業の発展。この地域は木材の宝庫で、肥薩線の駅の近くには必ず製材所があった。そこから建築材や炭

鉱の坑道を支える坑木などを大量に九州各地へ送り出した。北九州の石炭産業を縁の下で支えたのは人吉球磨からの坑木だ。また、八代の製紙業が盛んだったのも人吉球磨からの木材チップが豊富にあったから。産業の発展のおかげで雇用が拡大。鉄道関係者、製材所で働く人、積み下ろしの人などが忙しく働いた。このように肥薩線は、九州の産業発展に大きく貢献した。肥薩線が経済産業省の「南九州近代化産業遺産群」に選定されたのはそういったことを評価されたから。その時代から、昔のままの姿で頑張ってきた肥薩線の遺産的価値は高い。

肥薩線の価値を見直す時

肥薩線がいかに価値のあるものかを大方の人は認識していない。明治時代

に開通して昭和40年ころまでは一番重要な交通手段であったことは間違いないわけだが、今の人たちはその重要性を知らない。沿線地域の人たちに「ホントにすごいものがあるんだ」と見直してもらいたい。

例えば金閣寺のように単体としての魅力というものがあれば、一つ一つはそんなに目立たないが、何百と集まったときに総体として魅力になるものもある。肥薩線の魅力は沿線の景色まで含めた総体的なもの。古い駅や構造物など一つ一つを見れば、全国にも似たようなものは存在している。しかしそれは点在であって、肥薩線のような集合体ではない。今後は肥薩線という集合体の魅力をどうやって前面に出していくかが必要だと思う。



立山 勝徳 さん

昭和10年生まれ。人吉鉄道観光案内人会長。元市議会議員。元SL機関士。

●誇るべきもう一つの遺産●

鉄道観光案内人会

国鉄OBなどで構成される同会は、人吉駅の機関庫や転車台などの案内、子どもを対象にした夏休みの鉄道イベント、出前講座などで肥薩線を語り継ぐ活動を続ける。その活動が認められ、昨年の12月には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に選定され、これからの活躍が期待される。



▲プロジェクト未来遺産登録を祝う会員と田中市長



観光客にSLや機関庫の説明をする案内人▼



【写真・上段左から】SLに給水するための給水塔（大畑駅）/「SL人吉」が球磨川に架かる第二球磨川架橋を通過/日本で唯一のループ線とスイッチバックを併用した線路【下段左から】矢岳第一トンネル（矢岳側）。上部には「天険若夷（てんげんじやくい）＝天下の難所も平地のごとし」の石額が/湧水町の吉松駅に保存してあるSL・C55 52/えびの市の真幸（まさき）駅ホームの名所「幸せの鐘」



肥薩線世界遺産推進室、発車オーライ！



10年以内に暫定リストへ
肥薩線世界遺産推進室は、経済産業省からの出向職員・嶋川智尉室長（写真中央）を筆頭に、湧水町から出向してきた宮園俊二郎係長（同左）、そして山本研央主任（同右）の3人体制。業務内容は、「肥薩線の文化遺産調査」と、「世界遺産推進運動を進めていく中での地域振興」の2点。3年以内に八代一準人間にある駅舎、トンネル、

橋などの鉄道遺産約350件を有形文化財に登録し、10年以内に世界遺産の暫定リスト入りを狙う。平成24年度は、その手始めとして八代市の八代駅と坂本駅、芦北町の白石駅、球磨村の一勝地駅と渡駅、人吉市の大畑駅と矢岳駅、えびの市の真幸駅、これら8つの駅舎の有形文化財登録を目指す。

また、調査で判明した内容を広く周知するための「肥薩線ミュージアム」や、D51復活の足がかりとなるミニSLの運行など地域が元気になるしかけも計画している。

湧水町から“熱い”助っ人
同推進室の宮園係長は肥薩線沿線の鹿児島県湧水町の職員。昨年末、人吉市に肥薩線世界遺産推進室が立ち上るのを知り、町長らに「自分を出向させてほしい。やる気がある人が行かないと損失になりますよ」と直談判した。

宮園係長は「湧水町は鉄道を中心に発展してきたまち。肥薩線の世界遺産登録は人吉市と同様湧水町にとっても悲願です。世界遺産になった3つの鉄道に肥薩線も負けていないということとを世界へPRしていきたい」と意気込みを語る。熱い思いを胸に世界遺産登録へ突き進む！

世界遺産へ出発進行

平成24年4月1日、肥薩線の世界遺産登録という夢を実現させる第一歩として市役所内に肥薩線世界遺産推進室が設置された。

世界遺産という夢の意味
「肥薩線を世界遺産にすること」は、突拍子もない夢だと思われるかもしれない。もちろんそれは、簡単なことではない。残念ながら夢のまま終わってしまうことだってあるだろう。

しかし、例えそうだととしても世界遺産という夢には意味がある。肥薩線世界遺産推進室の嶋川室長はこう語る。「重要なことは閉塞的な社会の中で、人吉のような小さな自治体が世界遺産登録という夢に向かって着実に進んでいること。頑張る地域は周りからも注目を浴びる。これが地域の活性化になる」。

宝に気付く信じること
世界遺産という夢は、誰もが見られる夢ではない。見たくても宝がないという地域がほとんどだ。しかし、私たちにはその夢の可能性を秘めた宝がある。嶋川室長は続ける。「肥薩線には文化財級の遺産がまちなかの民家のそばにもたくさんあるが、身近すぎて誰も気付いていない」。

肥薩線が「誇るべき宝」であることに気付く、世界遺産になると信じ続けること。これが肥薩線世界遺産へのスタートラインなのだ。

参考文献
肥薩線の近代化遺産（弦書房）熊本産業遺産研究会編
九州のローカル線肥薩線（海鳥社）宇都宮照信・栗原隆司著
肥薩線 熊本県球磨地域振興局編
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟ホームページ



大畑駅名誉駅長・
大畑駅を愛する友の会会長
池田 幸男 さん

大畑駅を訪れた人に、やさしい笑顔で「お茶でも飲んでいきなれんですか」と声をかける。時には、ループ線とスリッパバックが一望できる場所への道案内も。
池田さんは元教師。大畑駅周辺の荒れ果てた様子を見て「退職したら草を払ってきれいにしよう」と心に決めた。退職後、駅の草払いに着手。うわさを聞きたつた人吉駅長の勧めで大畑駅の名誉駅長になった。「駅舎周辺をぐるっと一周草むしり。これを年に6回。11年間この繰り返しです」と笑う。

2年前、地域住民に声をかけ「大畑駅を愛する友の会」を結成した。活動は手弁当・無報酬。「昔から、観光客相手に地元の山菜などを売ったら面白いだろうと思っていた。それに高齢化社会で家から出ないお年寄りが多いことも気がかりだった。外に出て全国の若い人から元気を

もらってほしかった」と当時を振り返る。現在は土日・祝祭日に駅舎で地元の産物販売やお茶の接待を行うほか、駅周辺の清掃活動も行っている。今年の3月には駅を会場に「馬頭琴コンサート」のイベントに初挑戦。大勢の人でにぎわった。

「明治の時代に、こんな山奥によく鉄道を通したなと感心する。先人の偉業を考えると、いつかは世界遺産になると思う」と太鼓判を押す池田さん。「こうやって活動を続けているのも、大畑駅を訪れる鉄道ファンの後押しのおかげです」。



列車に手を振る「友の会」のみなさん

いろいろな魅力がある肥薩線だが、沿線の温かい人も大きな魅力。観光客に人気の無人駅、大畑駅と矢岳駅にも愛すべき人の姿があった。

無人駅の有名人



矢岳駅



大畑駅

観光列車「いさぶろう・しんぺい」号が矢岳駅に到着すると観光客が構内にあるSL展示館に押し寄せる。そこには軽やかな関西弁で地元産のシイタケや山菜などを売る「矢岳SLガンバッテル会」の店長・沼田さんの姿があった。

沼田さんは和歌山県出身。7年前に25年間和歌山で続けてきたパン屋をたたみ、奥さんの地元・矢岳町へ。現在は矢岳駅の目の前の田んぼで農業を営む。

一昨年の2月、町内の集まりで地元の農産物をSL展示館で販売することが決定。商売の経験があり、矢岳駅の目の前で農業をしているため比較的時間に都合がつけやすいということで、販売店の店長を買って出た。もちろんボランティア。「お客さん相手が好きなんやろね。地元の人や観光客が喜んでくれたらそれでいい」と笑顔。毎日「い



SL展示館内のD51の横で商売繁盛



矢岳SLガンバッテル会店長
沼田 守 さん

さぶろう・しんぺい」号の到着時間には、商品の前でお客様を待つ。「最近では、観光客にクッキーを贈ったり、逆に手紙をもらったりしてます」とリピーターも増えた。

「矢岳駅は部落の中心的存在。ここが世界遺産になったらお客も増えるし、矢岳町にも雇用が生まれて発展するだろう。そうになったら駅舎でパン屋さんをやってみたら楽しいやろな」。

ぼくたちピカピカの1年生 東間小学校入学式



緊張した表情で入場する東間小の新1年生

4月9日に市内の6つの小学校で入学式が行われ、314人の新しい1年生が元気に学校の正門をくぐりました。東間小学校では、63人の新1年生が「1年生になったら」の曲に合わせて入場。担任紹介のあと、一人一人名前を呼ばれると、手を上げて元気に「ハイ!」とお返事。まだ覚えきれていない校歌も一生懸命に歌いました。また、式終了後には2年生のお兄さん、お姉さんから「分からないことがあったら、やさしく教えてあげますよ」との歓迎の言葉や歌が贈られました。

新体制で市民の安全を守る 人吉市消防団春季総会



田中市長から辞令を交付される丸尾新団長（右）

人吉市消防団の春季総会が4月11日に市役所で開かれました。前年度まで通算で約16年間団長を務めた川野惟精さんの勇退に伴い、前副団長の丸尾喜世さんが団長に就任。田中市長から辞令を交付された丸尾新団長は「皆さんの力を借り、新体制で消防団活動にまい進していきたい」とあいさつしました。その後、丸尾新団長から、分団長や部長に昇格した新しい幹部に辞令が交付されたほか、昨年度の事業報告や今年度の事業計画などについての7つの議案が承認されました。

280年前の雄姿がよみがえる 岩屋熊野座神社お披露目見学会



お披露目見学会には多くの人が詰めかけた

平成21年9月に始まった国指定重要文化財・岩屋熊野座神社の保存修理工事が今年の3月に完成し、4月22日にお披露目見学会が開催されました。今回の補修は、シロアリ被害などで傷んだ神社を全て解体し、補修のあと組み直した大規模なもの。約280年前の姿に生まれ変わった同神社を一目見ようと、地元住民など100人以上が駆けつけました。同神社保存修理委員会の佐無田護会長は「皆さんに愛されるお宮になった。こんなにたくさんの方が集まってありがたい」と笑顔でした。

災害時の応援体制を確立 災害時等の相互応援に関する協定書調印式



協定書に調印した4市町の首長

県際地域として文化や経済面で交流を行っている人吉市と宮崎県えびの市、鹿児島県伊佐市、鹿児島県湧水町の4市町が、3月30日に災害時等の相互応援に関する協定を結びました。湧水町で行われた調印式には、4市町の首長が出席し「万が一のときに安心感がある」「さらに連携を深め、住民の安心・安全に努めたい」などあいさつ。協定では、災害発生時に食料や飲料水、必要な資機材や物資、車両、被災者受け入れ施設などを提供することが定められました。

満開の花と多彩なステージ 海棠まつり



ステージでの催しやたくさんの出店でにぎわった

昨年25年ぶりに復活した石水寺の海棠まつりが、今年も4月7日に開催されました。祭りに先立ち、参加者らは先月他界した同寺の住職へ黙とう。来賓らが「天国の住職に楽しい声を届けましょう」などあいさつし、ステージでは地元の小中学生による勇壮な中原太鼓を皮切りに、琉球舞踊やフラダンス、歌謡ショーなどさまざまな催しが繰り広げられました。また、境内のカイドウの花はちょうど見ごろ。鮮やかなピンク色の花の写真を撮る人たちの姿も多く見られました。

ハリウッド映画「ステップアップ2」に出演するなどアメリカを拠点に世界中で活躍する日本人ダンサー・甲田真理さんが、4月14日に土手町のダンススタジオ「Realize」で市内の子どもたちや一般ダンサーにダンスをレッスンしました。同スタジオの杉松さんが企画したもの。甲田さんが見本を交えてオリジナルダンスを指導すると、子どもたちは真剣に甲田さんのあとに続いていました。甲田さんは「ダンスは人と人をつなげるもの。楽しみながら続けてほしい」と話していました。

本場のダンスを楽しみながら 甲田真理さんのダンスレッスン



ダンスを子どもたちに教える甲田さん（左）

余った生地を有効活用 HITOYOSHI株式会社シャツの余り生地提供



福祉団体の利用者らに生地を手渡す竹長工場長（右）

高級ブランドのシャツ製造で知られる梢山工業団地の縫製会社HITOYOSHI株式会社が、4月17日にシャツの余り生地を市内の福祉団体に無償で提供しました。生地を受け取ったのは、市社会福祉事業団、白いキャンバス、市社会福祉協議会のボランティアグループ、市老人クラブ連合会の4団体。これまでは捨てていたという余り生地は柄もさまざまで、中にはヨーロッパ製の高級なものも。受け取った団体では、さわり織りの裏地や腕カバーなどに利用していくそうです。

「子どもと高齢者の交通事故防止」を重点目標に、4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動が行われました。初日の6日にはふるさと歴史の広場で出発式が開催され、市内20団体から約200人が集まりました。式では、老人クラブ連合会の大竹チヨカ会長と幼児交通安全ムーミンクラブの山崎明子会長が「正しい交通ルールとマナーを実践し、自らが率先して安全行動をとります」と宣言しました。期間中市内の交通事故は人身5件、物損10件でした。

死亡事故ゼロを目指して 春の全国交通安全運動出発式



宣言文を読み上げる大竹会長（左）と山崎会長（右）

平成 24 年度の主な事業

平成 24 年度は、
こんなことにも予算が使われます

▼健康増進事業（市民健診）
……7,156 万 6 千円

より多くの市民の方に受診してもらうことで疾患
などの早期発見や生
活習慣病の予防につ
なげられるよう、これ
までの健診制度を見
直しました。



▼健康農産物ブランド化推進事業
……206 万 8 千円

人吉の農産物（医食同源米、キクラゲ、トウガ
ラシなど）のブランド
化や販路拡大に向け
た取り組みを行いま
す。



▼住宅リフォーム促進事業
……1,000 万円

住宅環境の整備や性能向上、住宅の長寿命化に
向けて、住宅リフォ
ームの費用の一部を補
助します。



▼防災基盤整備事業
……2,684 万 8 千円

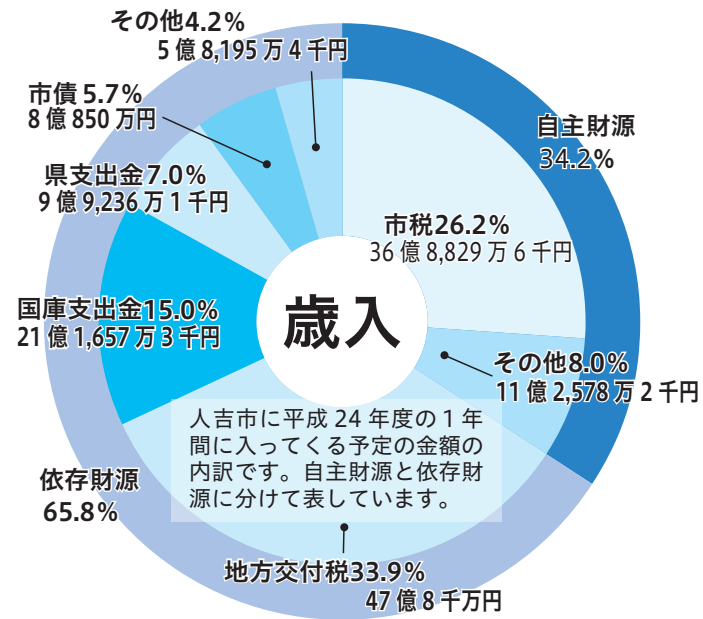
購入から年数が経過した消防団のポンプ積載車
を今年度から年次の
に買い替えていきま
す。そのほか、防火
水槽の新築も行いま
す。



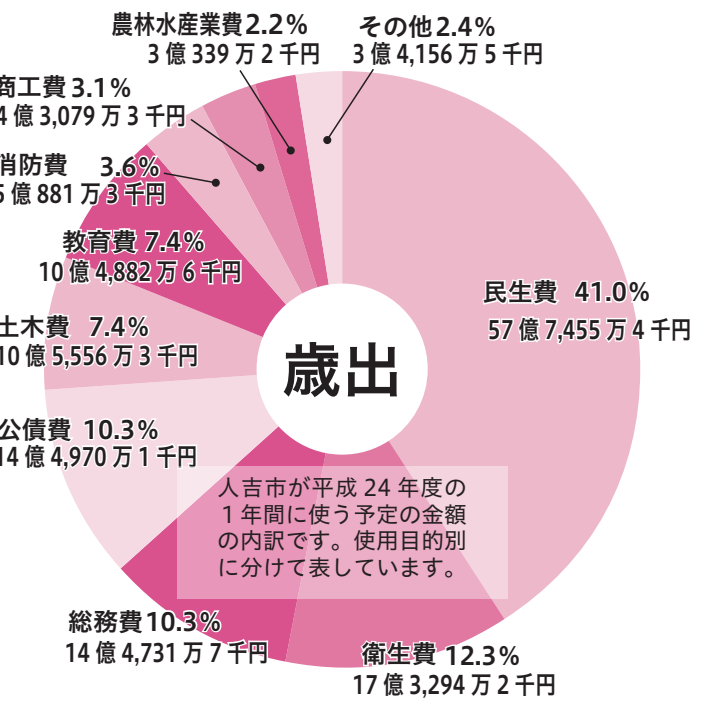
さらに詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。市ホームページ：http://www.city.hitoyoshi.lg.jp
また、市財政課財政係では平成 24 年度の一般会計予算書販売していますので、購入ご希望の方はお越しください。
(販売代金：1 冊 1,730 円。午後 3 時以降は、翌日以降の引き渡しとなります)

【問合せ】市財政課財政係（☎ 2 2 - 2 1 1 1 内線 2 1 3 1）

平成 24 年度
人吉市
一般会計予算
140 億 9,346 万 6 千円



歳入
面では、市税が
約 1 億 2 千万円
の増となりまし
た。これは中学生以下の年少扶養
控除が廃止されたために個人住民
税が増えたのが主な要因ですが、
経済状況の影響を受ける法人市民
税は減収となっています。また、
骨格予算であった昨年度に比べ、
道路等の新設・改良などに使用す
る土木費が増えたため、市債は約
1 億 3 千万円の増となっていま
す。



歳出
面では、土木費
が約 2 億 8 千万
円の増となっ
ています。昨年度は骨格予算であ
ったため投資的経費が圧縮されて
いましたが、通常予算である今年
度は道路等の維持・改良などの経
費で増額となりました。また、国
民健康保険事業特別会計繰出金
や生活保護費などの経費が増え
たため、民生費が約 1 億 7 千万
円の増となっています。

用語解説
骨格予算：市長や議員の選挙時期などの関係から政策的判断ができない場合に、新規事業費や政策的経費を計上していない予算。選挙後に肉付け予算として政策的予算を計上する。
投資的経費：施設などの将来にわたって残るものに支出される経費。
自主財源：市が自主的に収入するもの。
依存財源：国や県から収入されるもの。
市税：市民・事業所から納められる税金。
地方交付税：国が財政状況に応じて配分するお金。
国庫支出金：特定の事業のために国から交付されるお金。
県支出金：特定の事業のために県から交付されるお金。
市債：事業を行なうため借り入れるお金。

人吉市の予算

平成 24 年 3 月定例議会にて平成 24 年度当初予算が議決されましたので、その概要をお知らせします。
一般会計予算は 140 億 9,346 万 6 千円で、前年度当初予算と比較すると約 2 億 2 千万円の増となりました。

地震はいつどこで起こるか分かりません

木造住宅の耐震診断はお済みですか？

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では新耐震基準(昭和56年6月1日施行)以降に建てられた建築物の被害が少なかったことから、国では昭和56年5月31日(旧耐震基準)以前に着工された建築物に対して耐震化を進めています。東日本大震災のように、地震はいつどこで起こるか分かりません。市では、市内の戸建木造住宅の耐震診断をされる方を対象に、その経費の一部を補助します。

【申込・問合せ】 市建築住宅課建築係 ☎22-2111内線2435

補助対象者

- ・市内在住で、住民登録か外国人登録をしている方
- ・市内に住宅を有し居住している方または定住を目的に住宅を購入し住民登録か外国人登録をしている方
- ・市税などを滞納していない方
- ・住宅の居住者で所有者以外の場合は、居住者全員の承諾を得ている方

補助対象住宅

- ・昭和56年5月31日以前に着工された木造の一戸建て住宅および併用住宅（延べ面積の2分の1以上が住居スペースであること）
- ・2階以下で、在来軸組構法か枠組壁構法で建てられた木造住宅

補助の金額

- ・耐震診断経費は、住宅一戸当たり12万9千円を上限とします。
- ・補助の金額は、耐震診断経費の3分の2以内（千円未満は切り捨て）とします。

申請期間

- ・5月1日（火）～11月30日（金）※平成24年度に申し込みできる件数は10件です。

受付時間

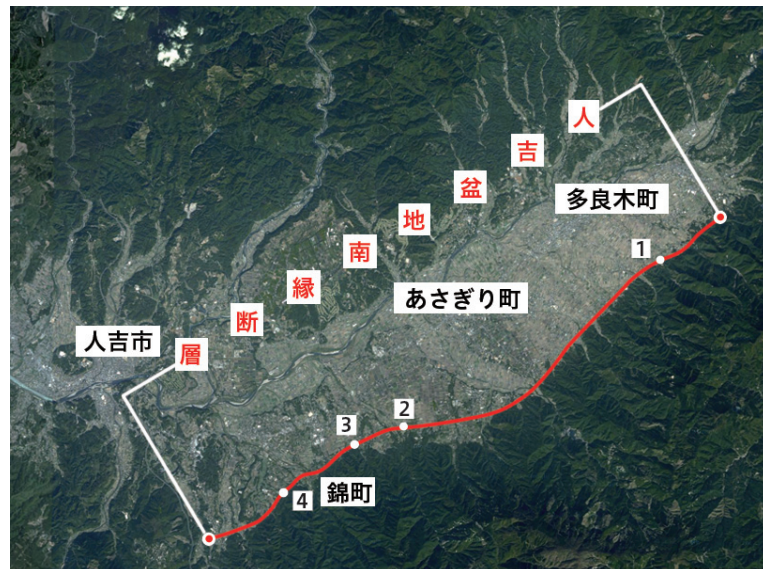
- ・月～金曜日の午前9時～正午・午後1時～5時（祝祭日を除く）

※耐震診断は、人吉市球磨建築設計事務所協会から派遣される建築士事務所の建築士が行います。

人吉市は「人吉盆地南縁断層」に接しています！

人吉盆地南縁断層とは、人吉盆地の南縁に沿って分布する活断層で、湯前町から多良木町、あさぎり町、錦町を経て人吉市東部に至る約22kmの断層です。

地震調査研究推進本部地震調査委員会によると、この断層はマグニチュード7.1程度の地震が発生すると推定され、今後30年の間に地震が発生する可能性は、日本の主な活断層の中ではやや高いグループに属すると言われています。



※市では、電話や訪問などによる耐震診断の勧誘は一切行っていません。

安全・安心で快適な住まいのために

住宅リフォーム費用の一部を補助します

市では、市民の方が安全・安心で快適な生活ができるよう、市内の既存住宅を対象に、リフォーム事業に登録している施工業者がリフォームを行う場合、その経費の一部を補助します。

【申込・問合せ】 市建築住宅課建築係 ☎22-2111内線2435

補助対象者

- ・市内在住で、住民登録か外国人登録をしている方
- ・市内に住宅を有し居住している方または定住を目的に住宅を購入し住民登録か外国人登録を済ませている方（定住される方は5年以上の定住が必要です）
- ・市税などを滞納していない方
- ・住宅の居住者で所有者でない場合は居住者全員の承諾を得ている方

補助対象住宅

- ・一戸建て住宅
- ・併用住宅（延べ面積の2分の1以上が住居スペースであること）
- ・分譲マンション（個人の専有部分に限る）

補助対象となる工事

- ・工事の総額が20万円以上（税込み）であること
- ・市に登録した施工業者が、補助の対象となるリフォーム工事を行うこと
- ・平成25年3月31日までに工事が完了すること

※補助の対象となるリフォーム工事の種類についてはお問い合わせください。工事内容については担当職員との協議が必要です。

補助の金額

- ・対象となるリフォーム工事の総額の4分の1（千円未満は切り捨て）
- ・1件あたり20万円が上限

申請期間

- ・5月1日（火）～予算額に達し次第終了

受付時間

- ・月～金曜日の午前9時～正午・午後1時～5時（祝祭日を除く）

※ほかの補助を受けている場合は対象外となります。

※補助金の申請は、1軒の補助対象住宅につき1回に限ります。

施行業者の方へ

市の住宅リフォーム促進事業で工事を行う場合は、施工業者の登録が必要です。

登録できる施工業者

- ・本市に主たる事業所を有する事業者
- ・法人市民税および市税などを滞納していない事業者

登録に関する事項

- ・法人市民税および市民税の納税証明書、事業を営んでいることが証明できる書類の提出が必要です。
- ・登録の有効期間は、リフォーム促進事業が完了するまでです。
- ・登録期間中は、2年に1度の納税証明書の提出が必要です。



リフォーム工事について、疑問や不満、紛争などが生じたら下記へご連絡ください。

(財) 住宅リフォーム・紛争処理支援センター（愛称：住まいるダイヤル）

 **0570-016-100**

※市では、電話や訪問などによるリフォームの勧誘・委託は一切行っていません。

平成24年度

校区公民館講座受講生募集

他校区からの受講もできますので、多くの方のお申し込みをお待ちしています。

対 象 者 市内在住の成人の方

募集期間 5月7日（月）～17日（木）※東西コミセンは7日（月）～14日（月）です。お間違えのないように！

受 講 料 1コースにつき全12回で3,000円

申込方法 各校区公民館に受講料を添えて直接お申し込みください。（電話・郵送での申し込みはできません）
※各講座とも受講者が5人以下の場合は開講しない場合があります。

あなたの学びが地域づくりや仲間づくりにつながります。

公民館で楽しく学んで、知識や技術を習得。

生きがいのある生活をしませんか？

東西公民館（コミセン）

〈城本町1088〉 ☎28－3230

コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	定員
かな書道	山本 徳舟	第1・3火曜	13:30～15:30	25人
3B体操	東 裕子	第2・4月曜	19:30～21:30	20人
健康太極拳	徳澄 恵子	第1・3月曜	19:30～21:30	40人
着物リフォーム	中本 ミサオ	第2・4木曜	13:30～15:30	15人
英 会 話	田代 伸子	第2・4木曜	10:00～12:00	15人
料理（男性）	大久保 典子	第1・3木曜	13:30～17:00	15人
着物着付	淵田 英子	第1・3火曜	10:00～12:00	20人
茶 道	山下 文子	第2・4水曜	13:30～15:30	20人

東間公民館（コミセン）

〈蟹作町1531-1〉 ☎24－3381

コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	定員
フラダンス	小出 喜代	第1・3火曜	13:30～15:30	30人
絵手紙	谷水 佐代子	第1・3水曜	13:30～15:30	20人
吟 詠	岩井 容子	第2・4水曜	10:00～12:00	20人
合 唱	山中 美智代	第2・4水曜	19:30～21:30	20人
3B体操	椎 マスエ	第1・3木曜	19:30～21:30	30人
絵 画	横枕 五十雄	第2・4木曜	13:30～16:00	20人
民 舞	山下 和子	第2・4木曜	19:30～21:30	20人

※吟詠の会場は青少年ホーム（西間下町）です。

大畑公民館（コミセン）

〈大畑町4071-2〉 ☎23－0830

コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	定員
竹 細 工	須恵 弘久	9月上旬～10月上旬	9:00～16:00	15人
着物着付	淵田 英子	第2・4木曜	10:00～12:00	15人
書 道	西田 正伸	第2・4水曜	19:00～21:00	15人
フラダンス	古川 京子	第2・4月曜	19:00～21:00	15人
絵手紙	谷水 佐代子	第1・3月曜	13:30～15:30	15人

西瀬公民館（コミセン）

〈下戸越町1063-1〉 ☎22－6934

コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	定員
生活を豊かにする「竹細工」	大柿 信太	第1・3火曜	9:30～11:30	20人
自分と仲間の健康と幸福「太極拳」	堀田 倫子	第1・3月曜	19:30～21:30	20人
家庭を明るくする「男性料理」	山上 晃子	第2・4金曜	9:30～11:30	20人
健康と美容に「3B体操」	西 ヤツエ	第2・4月曜	9:30～11:30	30人
心を豊かにする「いけばな（池坊）」	田中 純子	第2・4木曜	10:00～12:00	20人
歪んだ体と血流を促す「 じきょうじゅつ 自彊術」	延岡 由利子	第1・3木曜	19:00～21:00	20人
家を明るくする「表具」	魚返 倫央	第1・3木曜	9:30～11:30	20人

中原公民館（コミセン）

〈下原田町荒毛2136〉 ☎24－1764

コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	定員
実用漢字「くらしの書」	西田 正伸	第1・3金曜	13:30～15:30	15人
健やかに美しく「3B体操部」	西 ヤツエ	第1・3火曜	19:30～21:30	30人
撮り隊ひと集合！「写真」	豊永 和明	第1・3木曜	10:00～12:00	20人
中高年のための料理教室「バランス亭」	大久保 典子	第2・4火曜	10:00～12:00	16人
舞って！待って！アンチエイジング「舞踊」	一ノ瀬 ミツ子	第2・4木曜	10:00～12:00	20人
瞬発力をアップ！老化をストップ！「卓球」	濱 義寛	第2・4月曜	9:30～11:30	20人
脳内活性化計画 雑学笑科 「見とこ 聞いとこ 知っとこ」 毎回テーマがかわる講座				
6月 介護を知ろう	各講座ごとに 講師は変わります	第1・3金曜	10:00～12:00	30人
7月 表書きの練習「くらしの書」体験				
8月 日本古来のストレッチ体操「自彊術」体験				
9月 人吉城歴史館見学、菓の話し				
10月 球磨弁まっだし、石水寺見学				
11月 青井阿蘇神社文化苑、中原小授業参観				
12月 ストレスの話し				
1月 球磨焼酎「第2弾」			17:00～	

自主講座

〈受講生の皆さんで自主的に運営している講座です。詳しくは各公民館へ〉

公民館名	コース名	講 師	学習日（原則）	時 間	募集定員
東間公民館 （コミセン）	舞 踊	高山 綾子	第1・3土曜	14:00～16:00	20人
	社交ダンス	山本 矩子	第2・4月曜	19:30～21:30	30人
大畑公民館 （コミセン）	太 極 拳	東 千津子	第2・4金曜	13:30～15:30	15人
	吟 詠	淵田 英子	第1・3木曜	19:00～21:00	15人
	3B体操	古賀 美智子	第1・3水曜	19:30～21:30	15人
中原公民館 （コミセン）	社交ダンス 「フレッシュ中原」	富山 らん子	第1・3木曜	19:30～21:30	30人

動物の虐待は
犯罪です！

ペットなどの愛護動物を虐待もしくは殺傷した場合、1年以下の懲役または100万円以下の罰金が科せられます。

正当な理由なく動物を殺したり傷つけたりする積極的な行為だけでなく、充分な餌や水を与えないなど必要な世話を怠るネグレクトと呼ばれる行為も動物虐待に含まれます。

動物虐待を見かけたら、警察に通報するか、市役所や保健所にご相談ください。

問合せ 市環境課環境衛生係

「ひとよし歴史研究」
最新号を販売中

人吉球磨の歴史・文化の研究をまとめた「ひとよし歴史研究」第15号を刊行しました。

編集・発行 市教育委員会、市文化財保護委員会

内容 中世相良氏の内乱の研究、芦北郡の中世城の事例報告、東光寺跡出土経筒の分析、中世相良史の虚構への批判検証、かくれ念仏信仰の研究、山上八幡社本殿の建立年代の分析、蓮花寺跡・相良頼景館跡の再検証

古文書を読んで
歴史を100倍楽しもう！

昨年度スタートした市民歴史学習支援事業「古文書を読んでみよう！」の受講者を追加募集します。

開講日…5月17日(木)～平成25年3月21日(木)の毎月第1・第3木曜日(全20回)

時間 午後7時～8時30分

場所 人吉城歴史館研修室

講師 人吉市または球磨郡在住の古文書研究者(相良古文書研究会)

講座内容

①古文書を読むことで解説する楽しさを体験する。

②球磨地方の古文書を通じて郷土史を理解する。

③古文書を読むための辞書の使い方などのイロハ。

④(応用編)野外で石造物の拓本を採り、碑文を読む。

対象者 市内在住の成人で全日程に参加可能な方

参加費 無料(ただし資料印刷などの実費は受講者負担)

募集人員 5人程度(先着順)

申込・問合せ 市歴史遺産課(人吉城歴史館内) ☎2324 FAX22134

販売場所 人吉城歴史館

価格 1冊千円(税込)

販売時間 午前9時～午後4時30分

※休館日(毎月第二月曜日。祝日の場合はその翌日。年末年始)の販売は行いません。

※郵送での購入についてはお問い合わせください。

問合せ 市歴史遺産課(人吉城歴史館内) ☎22324

納税課窓口
日曜日も開庁中！

開庁する日曜日

〔5月〕13日、20日、27日

開庁時間 午前9時～午後4時

取り扱い業務

市税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・入湯税・法人市民税の納付、納税証明の発行、水道料・下水道受益者負担金の納付、市営住宅使用料の納付

問合せ 市納税課納税係

健康

愛の献血♥

◆5月16日(水)

〔万江病院〕

・午前10時～11時30分

日本庭園の第一人者に作庭と鑑賞の極意を学ぶ
お庭御覧Ⅱ

昨年に引き続き、日本を代表する作庭家・野村勘治氏を講師に迎え、日本庭園の楽しみ方や手入れの仕方を庭先で学ぶ講習会・鑑賞会を行います。

講師 野村庭園研究所主宰・

作庭家 野村勘治氏

◆6月2日(土)

〔臨地講習と講義〕

時間 午後1時30分～4時

場所 相良神社(人吉城内)

昨年の「お庭御覧」で全貌を現した人吉城御館跡庭園を野村氏と仕上げます。

◆6月3日(日)

〔市内の10庭園めぐり〕

時間 午前9時～正午

場所 青井大宮司邸、永國寺、

武家蔵(旧新宮家)、稲留家、

人吉城御館跡、立山商店、釜

田醸造所、芳野旅館、井口八

幡神社、町家ギャラリー立山

※青井阿蘇神社隣「文化苑」

集合、青井阿蘇神社駐車場解

散

申込期間 5月14日(月)～25日

(金)

参加費 講習・講義・庭園めぐりは無料。ただし、文化苑

の入場料300円は自己負担。

今月ももちろん進行中！
ごみ減量大作戦

作戦4 7月1日から指定資源ごみ袋の販売価格を変更！

ごみの減量と資源化への意識を高めていただくため、資源ごみ袋の販売価格を変更します。

種類	サイズ	現在の価格 (10枚1組)	7/1からの 価格 (10枚1組)
資源ごみ	大(80cm×65cm)	210円	126円
	中(70cm×50cm)	158円	95円
	小(55cm×38cm)	137円	82円

※燃えるごみ、燃えないごみの指定ごみ袋の価格に変更はありません。

指定ごみ袋の購入代金は
「ごみ袋の対価」ではなく
「ごみ処理手数料」です！

市民の皆さんに購入していただく「指定ごみ袋」の購入代金は「ごみ処理手数料」として市へ納められ、ごみ処理関連事業に活用します。

豊かな環境を次世代へ引き継ぐために、ごみ減量・リサイクルの取り組みに、引き続きご理解とご協力をお願いします。

問合せ 市環境課廃棄物対策係
(☎22-2111内線2711)

募集

緑のカーテン
モニター募集

「緑のカーテン」の効果の検証と普及のため、希望者にゴーヤの苗を配布します。

配布を受けた方は、緑のカーテンを実践し、モニターとして効果や感想などを報告

していただきます。
配布物 ゴーヤ苗(一家族2株。土やプランターなどの資材は配布しません)

配布世帯 25世帯

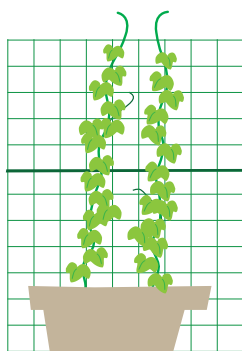
配布条件

・市内在住または市内事業者の方

・自宅または事業所に緑のカーテンを設置し、育成・管理できる方

・取り組み後に、報告書を出できる方(報告内容は公表する場合があります)

申込方法 電話での申し込み



申込期間 5月14日(月)午後3時～25日(金)午後5時15分
(予定数に達し次第受け付けを終了します。お早めにお申し込みください)

問合せ 市環境課廃棄物対策係

皆さんのまちづくりを応援します！ ～人吉市民まちづくり応援事業～

「人吉市民まちづくり応援事業」は、市民活動団体や自治組織などで取り組む「新たなまちづくり事業」の費用の一部を市が助成金を交付して応援する事業です。申請は、随時受け付けています。お早めにご相談ください。

申請できる団体 市内に活動拠点がある2人以上の団体で、その過半数が市内に住所がある方で構成されている団体。※ほかにも要件があります。

申請方法 市地域生活課備え付けのリーフレットで詳細を確認のうえ、申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて提出してください。リーフレットと申請書は市ホームページからもダウンロードできます。

申請・問合せ 市地域生活課協働推進係 (☎22-2111内線2111)

平成23年度は、1団体から申請があり助成金を交付しました。

地域づくり事業(地域元気づくり事業)

事業名	かいどう 海棠まつり	団体名	海棠まつり実行委員会(実行委員長 田中和夫)
事業費総額	60万円	助成金交付額	36万円
事業実施日	平成23年4月2日		
事業内容	約25年前に途絶えていた海棠まつりを復活させ、昔のにぎわいを取り戻し地域の活性化を図ることを目的として、下原田町の石水寺において海棠まつりを実施し、舞台での出し物、パザー、シャトルバス運行などを行った。		



このコーナーでは、人吉市保育園連盟給食部会の皆さんのご協力のもと、子どもはもちろん大人もニッコリの保育園給食メニューを紹介していきます。10 時間目は、今が旬のタケノコを使った一品です。



10時間目 タケノコ入り和風焼きコロッケ ～掘りたてタケノコで旬を味わおう～

春になると、保育園の裏山にはタケノコが出てきます。子どもたちはタケノコ掘りをしたり春野菜を収穫したりと、この時期ならではの体験をします。収穫したタケノコは給食で料理しますが、中にはタケノコが苦手なお子さんも。そこで、今回は子どもたちが好きなコロッケにタケノコを入れて、和風の甘辛あんで味付けしました。コロッケは揚げているので、とてもヘルシー。タケノコのようにすくすくと元気に育ってほしいですね。

こんなメニューにしてみました。
「旬がいっぱいすくすくメニュー」

- ・玄米ごはん(手作りふりかけ)
- ・タケノコ入り和風焼きコロッケ
- ・温野菜
- ・春キャベツのしらす和え
- ・野菜の味噌汁
- ・イチゴ
- ・麦茶



協力：人吉市保育園連盟給食部会

5月の行事カレンダー																														
31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(日)	(土)	(金)	(木)	(水)	(火)
						人間国宝「六代山勢松韻」人吉公演 (CP)			人吉市防災会議					古文書を読んでみよう(人吉城歴史館)		広報配布		順成寺展記念講演(順成寺本堂)					市民早起きソフトボール大会開幕		子ども読書フェスタ (CP)	子どもの日、クリン人吉早朝清掃、石野公園こどもまつり (6日)	こどもの日、クリン人吉早朝清掃、石野公園こどもまつり (5日)	お城まつり(ふるさと歴史の広場ほか、4日)	憲法記念日、日本百名城人吉	

※CP：カルチャーパレス、SP：スポーツパレス

よろしくお願ひします!!

平成24年人吉市新規採用職員紹介

自然豊かな美しいまち人吉が、さらに住みやすいところになればいいと思います。誠実さと正直さを大切に、信頼される職員になりたいと思います。



高校時代人吉市に毎日通い、人吉市を好きになりました。市民の方々に安心して生活していただけるよう努力していきます。

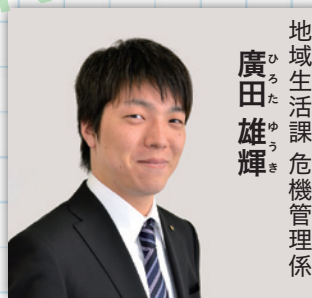
人吉のため、若さを生かして何事も元気よく。常に情熱と向上心を持ち、自ら考え行動します。よろしくお願ひします。

中学生の時からテニスをしています。仕事でもテニスをする時のように元気を出して、粘り強く頑張っていきたいと思います。

西瀬小→二中→人高と人吉で育った地元ラブの人吉っ子です。地元で貢献できる仕事に就くことができ幸せです。明るく元気に人吉の発展に貢献します！

芦北町出身です。人吉のことはまだまだ分からないことも多いですが、一生懸命頑張っている笑顔が忘れられない職員になりたいです。

市役所職員という立場・仕事を理解し、市民の皆さまが安全かつ安心に生活していける人吉市にできるように頑張ります。



「人に喜ばれ、人吉のためになる仕事がしたい!」との思いで、長い県外生活を終え人吉へ帰ってきました。人吉がより豊かになるように頑張ります。



地域の方々と触れ合うなかで、相手の立場に立って考え、相手の話を傾聴し、地域の方の幸せとは何かを常に考えていける保健師になりたいです。



民間企業の視点を取り入れることが、社会人経験者である私の使命。皆さまの負担を最小限にし、かつ質の高いサービスを提供できるように頑張ります。



生まれ育った人吉市で、市民の皆さんを第一に考え、もっと住みよい人吉市を目指して頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします！



市民の皆さんと一緒に人吉市の歴史について学んでいけるような学芸員を目指しています。人吉城歴史館でお待ちしております。





市長の部屋

ひと好し ちょっといい話

「先手あいさつ明るい笑顔、傘一本お茶一杯運動」を広げましょう

From the Mayor

いやゝ、実に暖かくなりました。過ごしやすいということだけで、笑顔になりますね。しかし、いよいよ夏の到来です。今度は「ぬつかですな」、「ほんにほめきもすな」があいさつ代わりになります。例えば、一年中「さむか」、「あつか」で、あつという間に時が過ぎていくような気がします。

先日、ある喫茶店で食事をしていると、S-L人吉で来られた4人の女性が、雨を避けるために入ってこられました。隣の席に座られましたので、会話の一部がいや応なしに聞こえてきます。「人吉は都会と思ったけど、案外さびれてるわね」

ああ、もつと頑張らないと二度と来ていただけないなあ、と、つくづく思いました。そこで浮かんで来たことは、長野県小布施町の街づくりの見事でした。街路が大きな木々で満たされており、お花畑のような美しさの中に日本家屋のどっしりとしたお店が立ち並び、実に独特の雰囲気を出しています。すべてに統一感があり、余計なものは一切ありませんし、ほっとするような心安らぐ街並みでした。早く人吉らしさという個性を発揮しなければ、イメージは膨らんでいるのですが……。千里の道も一歩からですね。ますますファイトが湧いてきました。

医療のお話し

From the doctor

今月のドクター

人吉市医師会 副会長

ひとよし内科 山田 和彦



貧血の治療薬・エリスロポエチンの話

今回は少し話題を変えて、病気の直接的な話ではありませんが、貧血の治療薬の一つである「エリスロポエチン」について述べてみたいと思います。

マラソンの選手が持久力をつけるために、オリンピックなどの大会の前に高地で練習しているというニュースをお聞きになった方もいらっしゃると思います。これは長く高地にすんでいると赤血球が増加して、そのような状態で平地に下りてくると酸素の運搬能力が増加することによって実際のマラソンで持久力が高まるという理論がその主な根拠とされます。ではなぜ高地では赤血球が増加するのでしょうか。それは高地では酸素が薄いために血液中の酸素分圧（濃度）が低下し、それを腎臓の細胞が感知してエリスロポエチンというホルモンを分泌し、そのホルモンが骨髄で赤血球を作らせ、増加した赤血球がより多くの酸素を筋肉に運ぶからです。

腎臓が悪くなると、腎性貧血という状態になることがあります。腎機能が低下すると腎臓でのエリスロポエチンの産生能力が低下し、赤血球の産生が減

て貧血になります。特に慢性腎不全による貧血のほとんどの例ではエリスロポエチンが極度に低下しています。このような貧血には有効な治療法がほとんどなかったのですが、20年ほど前、エリスロポエチンが薬として発売され、このような貧血の特効薬となりました。このエリスロポエチン製剤は今、世界で200万人、日本でも30万人の患者さんの命を支えていると言われています。

あまり一般には知られていませんが、このエリスロポエチンを発見し、製品化への道筋をつけた偉大な研究者は宮家隆次博士という熊本の研究者です。

宮家先生は昭和6年熊本市のお生まれで、熊本大学医学部を卒業後、大学院に進まれ、その後熊本大学第2内科（血液内科）に入られます。そして再生不良性貧血という貧血の病気の場合にエリスロポエチンの産生が増え尿へ排泄されるエリスロポエチンの量が増えることに着目し、1965年ごろから再生不良性貧血の患者さんの尿を研究に用い、その抽出に取り組みされたのです。宮家先生は毎日毎日熊本大学や熊本市内の関連病院に入院されている患者さんの尿を集められ、大学の研究室の低温室（大きな冷蔵庫のような部屋）でその抽出を続けられ、

1977年に10¹⁰倍の活性比の高いエリスロポエチンの抽出に成功されました。そのわずか10¹⁰倍のエリスロポエチンの抽出に要した患者さんのおしっここの量は2・55リットルだったそうです。その後1980年にアメリカに渡られ、抽出したエリスロポエチンを用いて1985年にエリスロポエチンの遺伝子のクローニングに成功されます。その後遺伝子工学によりエリスロポエチンの大量生産が可能となり、今多くの患者さんたちの命を支える大切な薬となったのです。

宮家先生はその後アメリカのカリフォルニア大学サンタバーバラ校の教授などを歴任され、平成元年に熊本に帰ってこれています。宮家先生は、学者としての研究歴のほぼ全てを患者さんの命を救う一つの物質の解明とその製品化のもととなった研究にささげられ、それを成し遂げられた偉大な研究者です。そして、その宮家先生を支え続けてこられた奥さまは人吉出身であることを付け加えて、今月の話とします。

参考資料 エリスロポエチンと宮家隆次博士（宮家隆次博士の業績をたたえる会 平成22年12月18日）

今月の表紙

大畑駅を愛する友の会の
中村さん、林さん、池田さん

土日・祝祭日は大畑駅で地元産のシイタケや工芸品などを販売する「友の会」の皆さん。この笑顔に会うために大畑駅を訪れる鉄道ファンもたくさんいます。

編集後記

編集室から

今回の特集「スタートライン」のために肥薩線の写真を撮りに出かけてきました。普段何気なく見ている鉄橋やトンネル、駅舎ですが、じっくり見てみると何とも言えないノスタルジックな気分になさてくれます。

ローカル線である肥薩線と人類の宝・世界遺産という一見相容れない2つのものが、もしかしたら一つになるかもしれないと思うとなんだかわくわくしますよね。

来月号からは、肥薩線の遺産について個別に紹介する連載を予定しています。お楽しみに。



みなさんから のおたより

このコーナーでは皆さんからのお便りを紹介します。

お願いがあります。広報ひとよしの中で、昨年は「祝日などのごみ収集」の日程が一年分掲載されていましたが、今年はなげ無いですか？4月の960号、961号にも載ってなかったです。ほんの半ページくらいで済むんです。5月の広報ひとよしにぜひ「祝日などのごみ収集一覧表」（一年分です）を掲載してもらいたいです。昨年の一覧表は本当に

助かったのですよ。班のごみ収集場にも大きく書いていました。我が家でもそれに基づいて出していたのです。ぜひぜひ掲載してください。お願いします。

西本正司さん（矢黒町）

貴重なご意見ありがとうございます。ご紹介します。

「祝日などのごみ収集一覧表」については、毎年4月15日のお知らせ号に掲載していましたが、「年に一度まとめて載せるのではなく、毎月載せてほしい」というご意見を多数いただいたために、今年度から毎月15日発行のお知らせ号に翌月分の祝祭日のごみ収集日の情報を掲載するスタイルに変更させていただきます。今後とも市民の皆さん

にとつて、読みやすい利用しやすい広報紙作成を目指していきますので、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

このページへの市民の皆さんからの「おたより」をお待ちしています。

広報ひとよしを読んだ感想や人吉への思い、あなたの周りで起こった身近な出来事などを書いてお送りください。

◎あて先
〒868-8601

人吉市麓町16番地

秘書課広報広聴係

Eメール

hisyo@city.hitoyoshi.lg.jp

※住所、氏名（ペンネーム可）、年齢、性別を記入してください。



まで

本人確認のため 身分証明書を お持ちください

市民課・税務課・納税課の窓口で、証明書などを交付請求される際は『本人確認』を行っておりますので、運転免許証などの身分証明書をおもちください。

問合せ 市民課
税務課
納税課

市役所開庁延長日

毎週月曜日と木曜日
(休日の場合は実施しません)

■開庁時間 午後7時まで
■対象窓口 庁舎1階下記の課

◆市民課 ◆福祉課
◆高齢者支援課 ◆税務課
◆保険年金課 ◆納税課

※5月31日（木）は開庁延長を中止します。ご注意ください。

人吉市カルチャーパレス自主文化事業

人間国宝「六代 山勢 松韻」人吉公演 ～国宝の郷に国宝の技響く～

5 / 25 **金** 開場：午後 6 時 30 分 開演：午後 7 時
会場：人吉市カルチャーパレス 小ホール

国宝の郷・人吉で、日本藝術院会員であり、人間国宝（重要無形文化財）の六代山勢松韻が箏曲を披露。人間国宝の技を間近で見て、伝統芸能・文化の奥深さを堪能しませんか？

入 場 料 大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円 未就学児は入場不可
※当日料金は 200 円増

チケット販売 人吉市カルチャーパレス、ブックスミスミ人吉店、明屋書店、各校区コミセン、老人趣味の家、ひとよし森のホール、ツルヤ楽器店、人吉市役所売店

主 催 人吉市・人吉市教育委員会



やませ しょういん 六代 山勢 松韻

東京藝術大学音楽学部専攻科修了。国内外で箏曲を披露し、多くの大学などで講師や客員教授を務める。平成 9 年文化庁芸術選奨文部大臣賞受賞、同 10 年紫綬褒章受章。平成 12 年に六代山勢松韻を襲名し、同 13 年重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される。平成 20 年から日本藝術院会員。

親子 20 組を無料ご招待します！

市内在住の小学生および中学生とその保護者 20 組を、抽選で無料ご招待します。官製はがきに必要事項を記入し、以下の要領でお申し込みください。抽選結果は郵送でお知らせします。

必要事項 住所・氏名・年齢（子どもと保護者）・電話番号

宛 先 〒 868-0015 下城本町 1578-1 人吉市カルチャーパレス

締 切 5 月 14 日（月）必着

【問合せ】 市市民文化課文化力推進係（☎ 2 4 - 3 3 1 1）